

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。  
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

通巻 **236** 号

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2015年2月6日配本** 定価3240円(本体3000円+税) A5判並製・280頁

陣内 秀信・高村 雅彦 編

**水都学Ⅲ 東京首都圏 水のテリトリー** ISBN978-4-588-78023-3 C1320

★★ 江戸・東京では、低地にある下町の掘割や運河だけでなく、武蔵野・多摩地域の台地、崖線、丘陵にも、多くの河川、湧水、池、用水など水の空間やネットワークが有機的に広がり、人々の暮らしを多面的に支えていたことが近年明らかになった。従来の水都の概念を大きく拡張、源流から湾までのテリトリー(地域)の視点から大都市をとらえなおす。 【都市史・都市論】

☞好評既刊書:『水都学Ⅰ 水都ヴェネツィアの再考察』『水都学Ⅱ アジアの水辺』など。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2015年2月23日配本** 予価6264円(本体5800円+税) A5判上製・430頁

齋藤 智志 著

**近代日本の史蹟保存事業とアカデミズム** ISBN978-4-588-32706-3 C1021

明治から昭和戦前期にいたる近代化の過程で、日本人は古代遺跡や社寺宝物などの歴史的文化財をどのように認識し、顕彰し、保存してきたのか。アカデミズムによる歴史学的・考古学的知の発展が、国家ならびに地域レベルでナショナリズム発揚やアイデンティティ形成に寄与した実態を詳細に分析し、史蹟保存運動の価値認識がはらんでいた政治的・文化的・学術的意味を明らかにする画期的研究。 【歴史学・日本近代史】

☞関連書:B. アンダーソン『想像の共同体』などのナショナリズム論・国民国家論、および民俗学の棚にも。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2015年2月24日配本** 定価4860円(本体4500円+税) A5判上製・320頁

荒武 賢一郎・太田 光俊・木下 光生 編

**日本史学のフロンティア2 列島の社会を問い直す** ISBN978-4-588-32132-0 C1021

★ 日本史学が蓄積してきた研究は、豊かな土壌を形成する一方で、「通説」という枷をも生み出した。「通説」を再生産しながら細分化する研究のありようを克服するには、研究史と時代認識を疑い、見過ごされてきた小さな史実を丹念に掘り起こさなければならない。土地制度や資源利用のあり方など、社会の基盤をなす時代と地域の特殊性にまなざしを向け、「通説」に縛られた歴史像に楔を打ち込む、先鋭的な論集(全2巻)。 【日本史】

☞関連書:荒武・太田・木下編『日本史学のフロンティア1』、山口隆治『加賀藩林野制度の研究』(いずれも小局刊)ほか。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2015年2月25日配本** 定価5940円(本体5500円+税) A5判上製・374頁

藤田 正勝 編

**思想間の対話 東アジアにおける哲学の受容と展開** ISBN978-4-588-15071-5 C1010

日本、中国、韓国はそれぞれの伝統に依拠しつつ西洋哲学を受容することで近代哲学を形成してきた。哲学や思想の特徴や制限は、他の思想を鏡とし、そこに映し出すことで明らかになる。なぜ違いが生まれたのか、その違いをどう克服するのか。受容から「対話」への道のりが新しい創造へと導く。現在そして将来における新しい東アジアの哲学の意義と可能性を検討してきた国際シンポジウムの成果を提示する。 【哲学・思想】

☞関連書:杉田・川崎『西洋政治思想資料集』、3月刊行予定牧野英二『東アジアのカント哲学』(いずれも小局刊)。

ご担当者様 氏名: [ ] 担当ジャンル: [ ] TEL: [ ] E-mail: [ ]

- \* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
- \* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
- \* 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。